

## 令和年度 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会

## および 福井県管理河川 嶺北・嶺南ブロック減災対策協議会

### 【議事概要】

日 時：令和 5 年 6 月 9 日（金） 15 時 30 分～16 時 30 分

場 所：対面・Web 併用開催 （メイン会場：福井県庁 10F 防災センター）

< 議事概要・次第 >

- (1) 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会  
令和 4 年度の取り組み状況と令和 5 年度の取り組み予定
- (2) 福井県管理河川嶺北・嶺南ブロック減災対策協議会  
令和 4 年度の取り組み状況と令和 5 年度の取り組み予定
- (3) ふくい県域タイムライン
- (4) 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会規約改正
- (5) 福井県管理河川嶺北・嶺南ブロック減災対策協議会規約改正

< 幹事会報告 >

○幹事会報告書

説明は割愛し資料配付のみ。

< 国協議会 令和 4 年度の取り組み状況と令和 5 年度の取り組み予定 >

○資料 1

国協議会における令和 4 年度の取り組み状況および令和 5 年度の取り組み予定について、福井河川国道事務所より説明。ソフト対策 34 項目のうち、令和 4 年度までに 33 項目を実施。

防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

- ・小中学校や地域住民への防災に関する出前講座やパネル展を実施。令和 5 年も引き続き実施
- ・『わが家のぼうさいコンテスト』を実施。令和 5 年も引き続き実施
- ・令和 4 年度は、福井市湊地区、河合地区等において地区防災マップ、マイタイムラインのワークショップを実施。令和 5 年度は、他の地区においても引き続き実施

<県協議会 令和4年度の取り組み状況と令和5年度の取り組み予定>

○資料2

県協議会における令和4年度の取り組み状況について、福井県土木部砂防防災課より説明。県協議会の取り組み33項目のうち、令和4年度までに29項目を実施

<県の取り組み>

避難行動のための情報発信等

- ・タイムライン、防災マップの作成支援出前講座を14地区、のべ21回実施。令和5年度も引き続き実施

ハザードマップの作成・周知等

- ・県管理河川の浸水想定区域の公表を受け、全市町が想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップを作成。令和4年度は、全戸配布やホームページへの掲載、広報誌への掲載等、周知活動を行った。令和5年度も引き続き周知活動を実施
- ・浸水想定区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画作成については、概ね100%を達成。今後は、計画に基づく避難訓練の実施についても促進・支援していく

大雨に備えた情報共有の充実

- ・令和4年度は、気象台からの早期注意情報発表のタイミングで国、県、市町等関係機関が参加する危機感共有のためのWeb会議を7回開催した。令和5年度も引き続き実施

避難行動のための情報発信

- ・令和4年度は5箇所の水位計、8箇所の河川監視カメラを増設。令和5年度は、水位計、カメラ合わせて40箇所の増設を予定

以下、福井県土木部河川課より説明。

小中学校や地域住民への防災に関する出前講座、パネル展の実施

- ・令和4年度は、NHKと県が連携し、福井市、越前市などで防災出前授業を実施。併せて県内のイベント会場において、防災・流域治水に関するパネル展を開催。令和5年度も引き続き実施

出水に対するダムや河川改修効果の情報提供

- ・令和4年度は、国直轄区間における河道掘削、県管理区間における樹木伐採等を実施し、河川水位の低減に努めた。また、これらの効果についてホームページ等で情報を発信した。令和5年度も引き続き実施

<市町の取り組み>

以下、各市町より減災の取り組みについて説明。

<敦賀市>

地域防災マップの作成促進

- ・敦賀市防災士会と連携し、令和4年度までに131地区のうち78地区において地域防災マップを支援・作成した。このうち、同意が得られた地区については、市のホームページで公開
- ・令和5年度は、新たに6地区において防災マップの作成支援。3地区において防災マップの見直しの支援を予定。これに加え、マイタイムラインの作成支援についても取り組む予定であり、積極的に外部講師を招くなどして自助・共助に関する講習会も開催予定

<勝山市>

ハザードマップの作成・周知

- ・令和4年10月8日に勝山市で開催された県の総合防災訓練に合わせ、地元住民を対象としたハザードマップおよびマイタイムラインを活用した避難訓練およびふりかえりを実施
- ・令和5年度は、昨年の大雨の経験を踏まえ、市民への情報伝達方法の改善策として、モーターサイレンを活用した「早鐘」や、防災アプリの認知度向上を図る。また、これに併せて、職員向けの避難情報発令マニュアルや災害対応マニュアルを作成し、実践的な訓練を行うなど、防災力の向上を図る

<福江市>

水害対応タイムラインの作成・活用等

- ・令和4年度は、市民の防災意識の向上と自助・共助による防災体制の強化を目的として防災ハンドブックの改訂を行い、全戸配布を行った。改訂にあわせ、マイ・タイムラインについても記載し、作成促進に努めた
- ・福江市防災フェアを2回開催し、マイ・タイムライン作成講座等を行うなど市民の防災意識高揚と啓発を図った
- ・令和5年度は、昨年度作成した防災ハンドブックに関する出前講座の実施、個別避難計画の作成促進、自主防災組織連絡協議会を対象とした意見交換や情報共有の場を設けるなど、地域間の連携の強化を図る

<小浜市>

水害対応タイムラインの作成・活用等

- ・令和4年度は、7区において研修会やまち歩き等を実施し、地域防災マップの作成を支援した
- ・令和5年度も引き続き10区で実施するとともに、防災士の会と連携して防災講演会を開催し、地域での防災意識の向上を図り、未作成区での地域防災マップ作成に繋げた。また、各区において作成された地域防災マップの情報共有に対する支援を予定

<大野市>

小学校への防災に関する出前講座実施

- ・令和4年度は、市内の小学校に職員が赴き、ハザードマップや水災害への備えなど防災に関する出前授業を実施
- ・令和5年度は、引き続き小学校への防災出前授業の実施、地域防災マップの作成促進、防災メールの利用登録の促進および要配慮者利用施設における避難確保計画を活用した避難訓練の実施を促進する予定

<鯖江市>

防災行政無線の活用推進のための検討・促進

- ・令和4年度は、市民への迅速かつ確実な防災情報の伝達を目的として、防災行政無線の課題の整理、問題解決に向けての情報収集を行った
- ・令和5年度は、防災行政無線の電波伝達調査、音達調査等必要な調査を実施するとともに、その他の方法と連携した最善の情報伝達手段の検討を行い、令和6年度には詳細設計を行って令和7年度末までに最適な情報伝達手段の整備を目指す

<あわら市>

防災士の組織化とリーダー育成

- ・令和4年度は、市内在住の防災士を対象として、「あわら市防災学校」を4回開催した。開催にあたっては、毎回開催地区を変更し、その地区の自治会長、民生委員、消防団などの防災リーダーにも参加を呼び掛けることで、防災技術や知識、意欲の向上に努めた
- ・令和5年度も、引き続き開催地区を変更しながら「あわら市防災学校」を定期的開催予定

## <越前市>

### 広域避難に向けた指定避難所の指定

- ・令和4年10月に、県有施設である丹南総合公園を指定避難所および指定緊急避難場所に指定。大規模災害時には近隣の市町とも連携して広域避難場所としても利用する等、県有施設の効果的な活用について検討
- ・令和5年度は、地元ケーブルテレビが河川監視カメラを設置予定であることから、これらを活用して、防災情報を発信し、市民の早めの防災対応・避難に繋げる。また、それらと併せて、防災出前講座を通じてハザードマップ、コミュニティタイムライン、マイタイムラインの周知・作成支援を行うなど、自助・共助による防災力の向上を図る予定

## <坂井市>

### ハザードマップの周知・活用等

- ・令和4年度は、昨年度に引き続き出前講座、小学校の防災合宿等あらゆる機会を通じてハザードマップの周知を実施。地区防災訓練は4地区で実施し、197名が参加。出前講座は計13回実施し、455名が参加。小学校の防災合宿は4校で実施し145名が参加
- ・令和5年度も引き続きハザードマップの周知活動を予定しており、地区防災訓練においては4地区。出前講座は計15回、小学校の防災合宿は4校で実施予定

## <永平寺町>

### 要配慮者避難訓練

- ・令和4年度は、要配慮者が安心安全に福祉避難所で避難生活を送れるよう、災害時を想定した福祉避難所の開設訓練や避難訓練、福祉避難所における生活を実体験する訓練等を実施し、訓練の後には関係者間で意見交換を実施する等ふりかえりを行った
- ・令和5年度は、小学校を活用した要配慮者の避難訓練を実施、個別避難計画の推進、マイタイムラインの作成支援、小学校への防災教育の充実を図る予定

## <池田町>

### ハザードマップの普及促進

- ・令和4年度は、想定最大規模のハザードマップを全戸配布し、説明会を開催する等防災力の向上を図った。また、これと併せ、町民とハザードマップを見ながら土砂崩れの危険がある箇所を確認したり、高齢者が集まる場所においてマイタイムラインの普及活動なども実施した
- ・令和5年度も引き続きこれらの取り組みを行うとともに、各地区へ防災隊長の依頼、要配慮者について細かく記載した避難計画名簿作成の取り組みも継続して実施予定

<南越前町>

要配慮者利用施設の避難訓練実施、避難確保計画の検証と点検の促進

- ・令和4年度は、要配慮者利用施設の避難訓練に町の防災担当者が施設に赴き、気象情報や避難情報の収集方法について説明するとともに、ハザードマップを用いて施設周辺の災害のリスクやそれらを踏まえた避難の方法について説明を行った。そのうえで、避難訓練に立ち会い、計画の実効性などを検証した
- ・令和5年度も引き続きこの取り組みを実施予定

<越前町>

防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充

- ・令和4年度は、町内の高校を対象に避難所の開設体験やマイタイムライン作成などの防災教育を実施。町内の地区連合会に対しては、ハザードマップの説明や防災マップ作成講座を実施
- ・令和5年度は、自助・共助の強化を目的として、自主防災組織設立の促進および自主防災組織への支援の強化を実施予定

<美浜町>

避難行動のための情報発信等

- ・令和4年度は、町の防災アプリ「美浜町防災アプリ」の機能追加を行い、利便性の向上および伝達機能の強化を実施
- ・令和5年度も引き続きアプリの周知活動を実施するとともに、より使い勝手が良いアプリとなるよう、ブラッシュアップを実施予定

<高浜町>

地区防災計画策定支援

- ・令和4年度は、地区防災計画策定の支援を実施。3か年計画で、令和4年度には策定部会立ち上げ、令和5年度には、勉強会やまち歩き、防災マップ作成等のワークショップの開催、令和6年度にはマイタイムライン作成を実施予定
- ・和田地区における本取り組みは、今後他地区への水平展開を予定

<おおい町>

水防体制の強化

- ・令和4年度は、外部より講師を招き、自主防災組織等を対象とした研修会を2回開催し、昨年8月の大雨の被害や教訓を学ぶなど、災害への対応力、防災力の強化を図った
- ・令和5年度も引き続きこれらの取り組みを実施予定

<若狭町>

水防体制の強化

- ・令和4年度は、水防訓練を実施し、連絡体制の強化・確認を実施するとともに水防工法の知識および技術を習得した
- ・令和5年度は、水防訓練の実施、要配慮者利用施設の避難確保計画作成の指導および避難訓練の実施、個別避難計画の作成の推進、自主防災組織への支援を実施予定

<ふくい県域タイムライン>

○資料3

ふくい県域タイムラインについて、事務局である福井河川国道事務所より説明。

- ・昨年の大雨を踏まえた振り返り会議における課題の対応策として、国、気象台および県が連携し、市町の避難情報発令等を支援することを目的として作成
- ・作成に当たっては、全市町が参加して勉強会および策定部会を開催
- ・本日のスタートアップ式典を皮切りに、今年度の出水期から施行運用を開始し、Web危機感共有会議などを通じて関係機関の連携強化を図るとともに、適宜勉強会や振り返りを繰り返してブラッシュアップを行い、令和8年度からの本格運用を目指す
- ・流域単位によるタイムラインの作成ではなく、県全体を対象としている点は全国初
- ・水害に限らず土砂災害も対象
- ・避難情報発令等基準について、規模の大きい河川と中小河川を分けて設定

<規約改正>

○資料4、資料5

国および県協議会における規約改正は、部署名の変更等軽微な変更であるため説明は割愛し資料配布のみ。

<その他・質疑等>

意見、質疑等無し。